

第8回幼児教育実践学会 口頭発表
 「子ども理解」
 ~子どもとの温かい信頼関係の構築に向けて~



四国地区 尾野 絵理圭(認定こども園みさと幼稚園教諭)
 岡林 雅子 (認定こども園みさと幼稚園教諭)
 有田 尚美 (高知学園短期大学准教授)

「何よりも子どもを第一に」
 感動体験に勝る学びはない

教育目標

『豊かな感動体験を通して、
 友だち同士育ち合い
 生きる力を育む』













研究にあたって

昨年の振り返りから

- ・子どもの目に見える行動のみに注目し
真の姿に気づいてなかった事例が
あった。
- ・発達や内面の育ちにあった保育は
できていたのか。

自分達の保育を見直そうと、園内での研究テーマを
もとに研究を進めていく。

園内研究テーマ

ひとりひとりの子どもの
育ちや発達を理解し
保育者のどのようなかかわりや
保育の取り組みが必要かを考える

2 園内研修の工夫・改善 チームビジョン TAT

- ・全員参加の園内研の時間確保
- ・園内研修の取り組み方の工夫

研究のすすめ方



- ホワイトボードで話し合い
職員配置は？
準備物は？
- クラスだより持ちより検討会



- 写真を使った事例研



- 田の字法



1 共通理解

- ・3. 4. 5歳児の発達の特性や学びを再確認していく。
- ・子どもの表情・行動に温かい関心を寄せ丁寧な振り返りを行う。
- ・幼児が主体的な遊びを充実するための保育者のかかわり方を具体的な事例場面から探る。



記録を持ち寄った事例を見つめなおしていく中で 寄り添っている つもりが 自己満足	「ここができない」と マイナス思考で見て いることが多かった
子どもの視点や 共感することを言葉だけではなく、保育の中で 実践でいかそうとして いたか？	気になる子 を捉えるとき、自分に とって気になる行動と して否定的に捉えがち であった

A boy in an orange shirt is being harassed by another boy. The harasser is pointing at the boy and shouting 'やめて！' (Stop!). The boy being harassed has a distressed expression and is sweating. A speech bubble from the harasser says 'A君がやったがやない?' (Did A君 do it? It's not me!). Another speech bubble from the harassed boy says 'A男がない時トラブルになると' (When there's no A man, trouble will arise). The title 'クラスの雰囲気' (Class atmosphere) is displayed at the top.

実践事例

『3歳児 A 男の姿を通して』

行動から読み取れる他児の思い

A girl with brown hair tied up in a bun, wearing a pink long-sleeved shirt and dark pants, stands with her hands on her hips, looking thoughtful. Two thought bubbles above her head contain Japanese text: the left one says "なんでこんな行動をするんだろう" (Why does he do such an action?) and the right one says "そういえばA君の事よく知らないな..." (By the way, I don't know much about A君). The background is plain white.

A男の行動をよく見てみよう！

たたいたり、押したりするのは？

どんなときに？

そういえば！？

- 朝、登園すると目の前にいる子を何度も押したりたたいたりする。
- 友達が何か違うことをしているとき。
- 出欠活動や昼食時に隣の友達をたたく。

一度たたき、反応がないと何度もたたいているなあ？

友達にやめて！と言わてもたたき続けているなあ？

出欠活動の時、どこに座るかよく迷っているなあ？

行動から読み取れるA男の思い

ただガムシャラに壊しているのではなく“怪獣”というA男なりのイメージがあった。

A男も積み木で遊びたかった？

怪獣になったら反応が返ってくると思ったのでは？

貸してという思いから？

行動から読み取れるA男の思い

友達に関心があるのかな？

A男なりの“おはよう”友達から返事が返ってこないから何度も押すのでは？

押すと反応が返ってくる為嬉しい・楽しいのでは？

隣の友達を叩くのは“関わる”サイン？

だんだんA男の事が分かってきた！



かまってほしい甘えん坊

お手伝いや当番活動などはりきつちゃう！

友達だいすき！友達が泣いている時ティッシュを差し出す優しい一面も…

乗り物だいすき！

玩具を投げる・友達の物を壊すのは？

どんなときに？

そういえば！？

- 「Aは怪獣になったが！」と言い玩具を投げる。
- 「ドーン！」と言いながら友達が作っている大型積み木を壊す。

友達の物を壊した後その玩具で遊ぶ姿がある。

A男にはどんな経験が必要？



保育者を心のよりどころとして安心して遊ぶ

友達に自分の思いが伝わる嬉しさを知る

友達がA男のよさに気づく

(エピソード1)
5月9日 「しゅっぱつ！しんこう！」



(エピソード3)
5月11日 「うんてんしちゃお！」



(エピソード2)
5月10日 「レストランするが～！」



新しいクラスで
落ち着いて遊ぶ
ようになってき
た！A男に
とって居心地の
良いクラスに
なってきた
かな？

A男だけでなく、他の
子ども達にもバスごっ
こが広がってきた！
経験した遠足のバス
の空間がより楽しめ
るように囲いを作つ
みようかな？

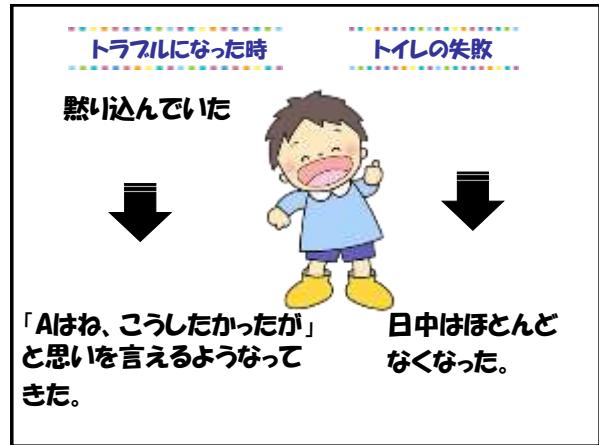
今度のグループ替えはB子と
同じグループにしようかな、
関わりを楽しめたらしいな♪

『バスごっこ』で遊ぶと
思ったのになあ...
よーし、明日は切符を
用意してみよう♪

昨日の園内研修の
話し合いからヒントがい
っぱーい！！

(エピソード4)
5月16日 「いいよ！」





クラスの雰囲気

友達との関わり

- ★側に来ただけで「やめて」という姿がなくなった。
- ★保育室の中で「Aくんが～」という声がとても少なくなった。
- ★いろいろな場面で「Aくんと座りたい」という声が聞かれようになってきた。
- ★バスごっこでよく遊んでいたB子と同じグループ、昼食時はご飯が手につかないほどお喋りを楽しんでいる。
- ★他のクラスにもよく遊びに行き行動範囲が広がり友達との関わりも増えってきた。

自分で遊びが進まなくなると離れていくのはなぜ？

素直に自分の思いが表現できないのはどうして？

実践事例

«4歳児K子の姿を通して»

自分で遊びが進まなくなると離れていくのはなぜ？

どんなとき？ そういえば！？

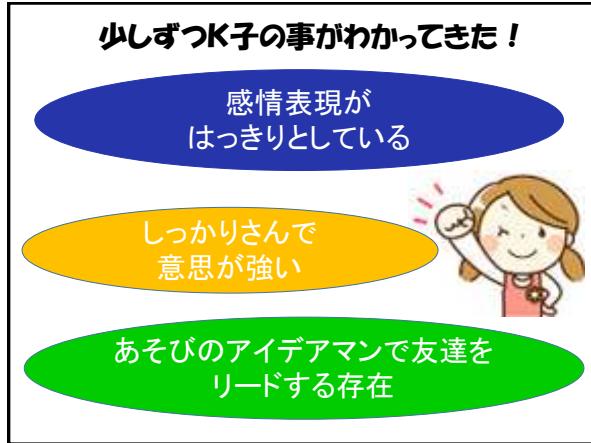
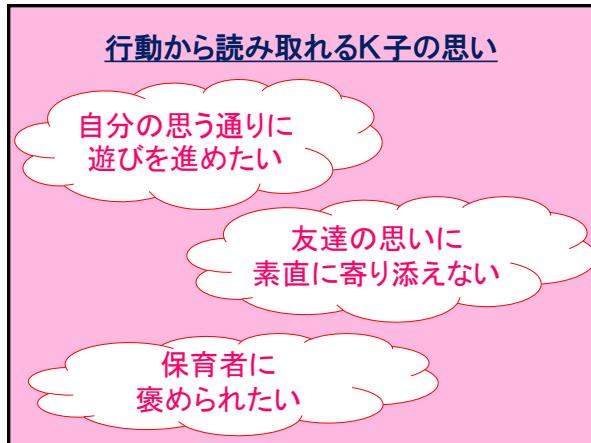
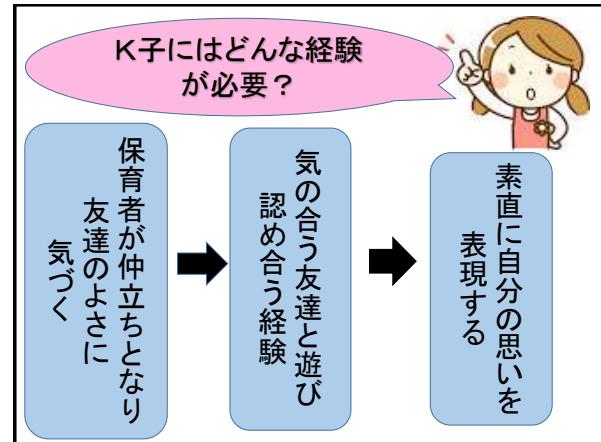
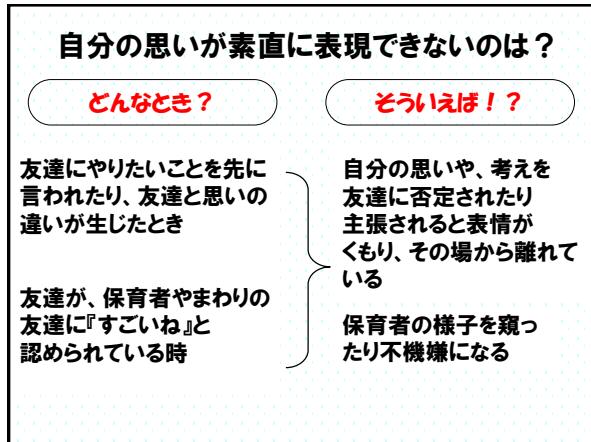
- ・友達が始めた遊びにはあまり入っていかない
- ・人数が増え、自分の意見が通りづらくなると遊びをやめてしまっている
- ・自分から始めた遊びは生き生きとしているが自分で遊びが進まなくなると、違う遊びに移る
- ・保育者が他の子と話したり認められているとその場からいなくなることがあるな

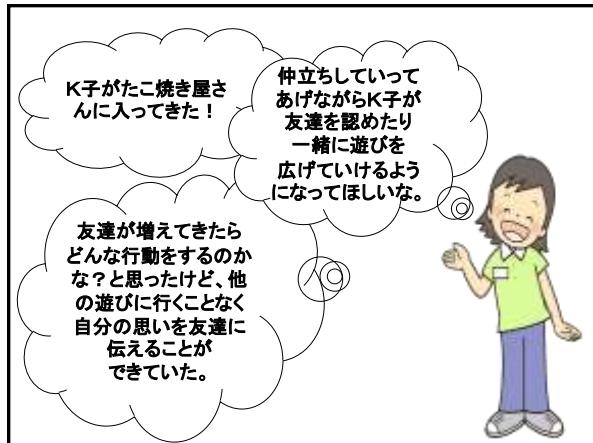
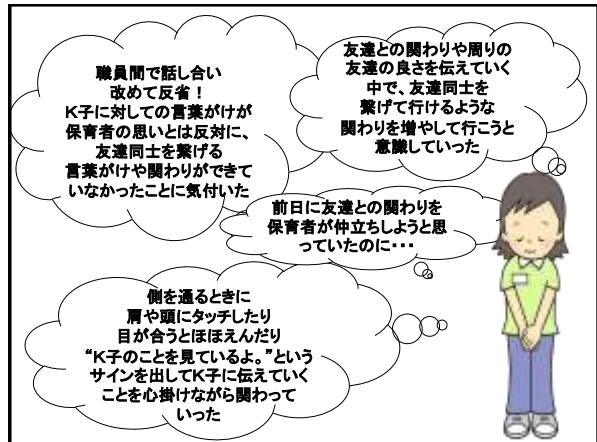
保育者から見たK子

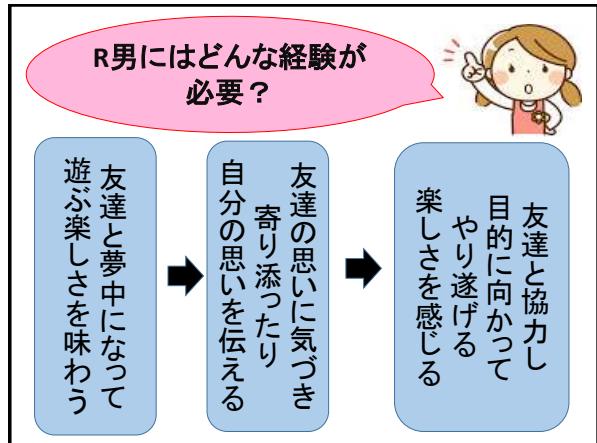
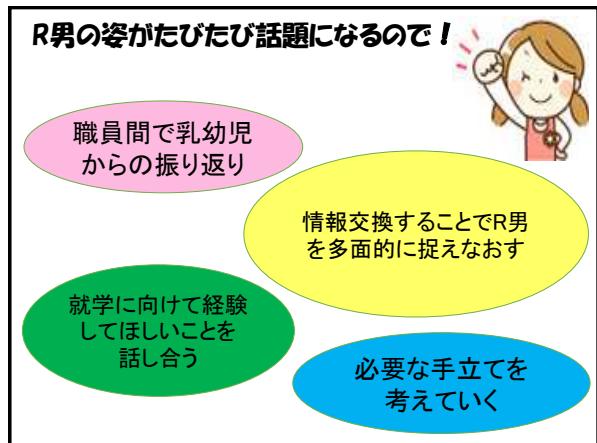
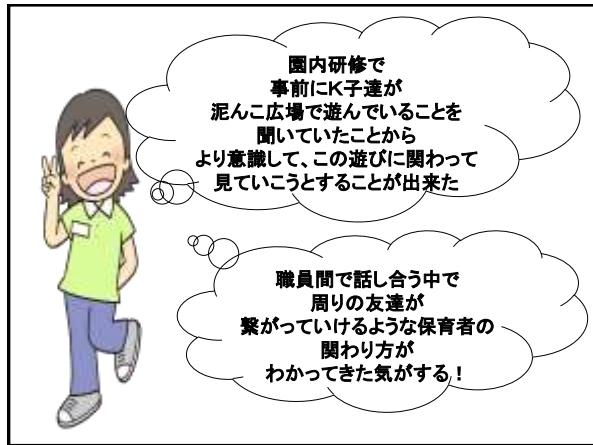
- 生活面がしっかりしている
- 友達をリードし自分が中心で遊びを進める
- 友達や場面によって態度が変わる
- 素直に自分の思いを表現できない

行動から読み取れるK子の思い

- 保育者に自分のことをもっとみてほしい 関わってほしい
- 友達が認めされることを受け止めにくい







(エピソード1)
5月2日 「みてみて～」



みんなで協力して海賊船が作れないかな？

L男とE男はアイデアマンだなあ。みんなにも気付いてほしいな…

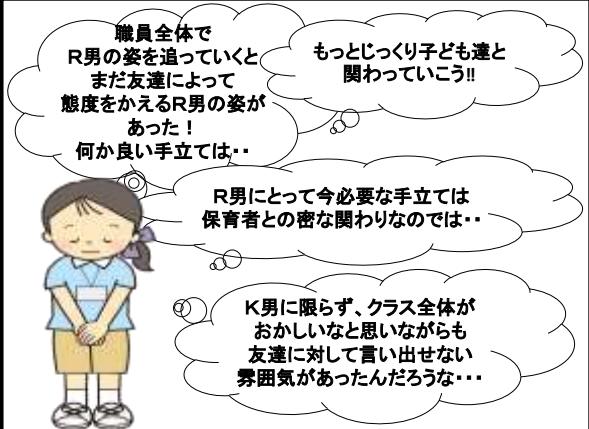
R男が夢中で遊び自己発揮できるようになるためにはどうしたらいいのかな？

道具や用具の使い方が未熟なこともイメージが重ならない要因ではないかな…

(エピソード3)
11月4日 「Kくん かいじゅうね」



(エピソード2)
5月9日 「Rくんみいつけた！」



(エピソード4)
3月10日「Rくんあたつたで！」



(エピソード5)
3月16日「もういっかいつくつたらいいか」





遊びが続かない

思い通りにならないと泣いたりすねたりして遊びをやめていた。

気の合う友達

言い返せない友達に強く言う等相手によって態度をかえていた。

↓

共通のルールのある遊びを友達と楽しんだり、もう一回作ろう等、気持ちの折り合いをつけることが出来るようになった。

↓

友達の思いを受け止めようとするようになり仲間と協力したり一緒に遊ぶ楽しさを感じはじめた。

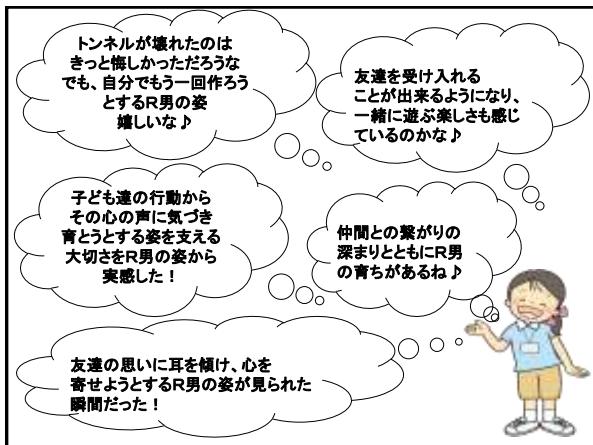


積み重ねが大切だね！

仲間と共に積み重ねを進めていくことが楽しい

気の合う友達や先生と一緒に積み重ねが嬉しい

先生と一緒に積み重ねが嬉しい



保育者の役割

- ・興味のあるものを準備し、じっくりと聞わっていくことができる環境や援助
- ・友達に繋げる経験の保障
- ・言葉にならない気持ちや欲求・要求を汲み取る
- ・いざこざ体験を乗り越え多様な経験ができる環境づくり
- ・一人一人に応じた友達との仲介とともに、仲間の育ちへと繋げる援助
- ・自分の考えややつてみたい！を十分に保障できる環境づくり
- ・友達と気持ちを通じ合わせる喜びを十分に味わわせる

